

2017/08/09

第10回全国高等学校情報教育研究会全国大会（全国大会）
in 電気通信大学

アンケート調査の分析結果で検討する ネット依存とその指導の考察

稲垣 俊介

INAGAKI Shunsuke

東京都立江北高等学校

Tokyo Metropolitan Kohoku High School

発表の流れ

本発表の概要

1. はじめに

2. 方法と結果

3. 考察

4. まとめ

本発表の概要

本発表の概要

アンケート調査でネット依存について調査

生徒のネット依存が学校生活への影響について検討

ネット依存の学校生活へ影響には性差がみられる

皆さんの豊富な経験をデータに

1.はじめに

高校生のインターネット利用と依存

- **1日に4時間以上利用する割合が19.8%**

平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査
内閣府(2016)

- **高校生のおよそ6割がネット依存の傾向を呈す**

高校生のスマートフォン・アプリ利用とネット依存傾向に関する調査
総務省(2014)

- **友人との関係満足度が低いとネット依存が高まる**

平成23年度共同研究報告書 インターネット利用と依存に関する研究報告
橋元ほか(2014)

- **ネット依存の程度と抑うつや孤独感との関連性**

スマートフォンによる青少年のインターネット依存および親子関係と依存の関連
堀川ら(2013)

高校生のインターネット利用と依存

ネット依存傾向が生徒の対人関係や心理面と関連することを示唆する先行研究の知見を踏まえると、**ネット依存傾向の高さは、学校生活における振る舞いにも何らかの影響を及ぼしている可能性がある**と考えられる。

本研究の目的



高校生向けインターネット 依存傾向測定尺度

(鶴田ほか 2014)

- 精神的依存状態
- メール不安
- 長時間利用
- ながら利用
- 対面コミュニケーション不安

学校生活スキル尺度 (高校生版)

(飯田ほか 2009)

- コミュニケーションスキル
- 進路決定スキル
- 自己学習スキル
- 集団活動スキル
- 健康維持スキル

2.方法と結果

インターネット依存傾向測定尺度

生徒による
質問紙法

全39項目

4件法

①精神的依存状態

②メール不安

③長時間利用

④ながら利用

⑤対面コミュニケーション不安

ネット依存得点の男女別の平均値

	男子平均	女子平均
精神的依存状態	1.75	1.87
メール不安	1.58	1.71
長時間利用***	2.25	2.56
ながら利用***	1.98	2.24
対面コミュニケーション不安	1.79	1.87

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$

ネット依存
長時間利用・ながら

利用

女子 > 男子

学校生活スキル尺度

生徒による
質問紙法

全49項目

4件法

①コミュニケーションスキル

②進路決定スキル

③自己学習スキル

④集団活動スキル

⑤健康維持スキル

学校生活スキル得点の男女別の平均値

	男子平均	女子平均
コミュニケーションスキル**	2.78	2.96
進路決定スキル	2.81	2.84
自己学習スキル*	2.71	2.85
集団活動スキル*	3.31	3.42
健康維持スキル*	2.78	2.93

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$

学校生活スキル

女子 > 男子

ネット依存傾向と学校生活スキルの相互相関(男女別)

	精神的	メール	長時間	ながら	対面	コミュS	進路S	自己S	集団S	健康S
精神的	-	.46***	.62***	.49***	.58***	-.20**	-.12	-.19**	-.01	-.20**
メール	.62***	-	.33***	.31***	.36***	-.08	-.02	.02	-.13	-.05
長時間			-							-.13
ながら				-						-.03
対面					-					-.23**
コミュS						-				.60***
進路S							-			.54***
自己S	-.34***	-.25**	-.33***	-.33***	-.36***	.55***	.64***	-	.29***	.53***
集団S	-.47***	-.26**	-.33***	-.33***	-.42***	.52***	.48***	.50***	-	.36***
健康S	-.23*	-.27**	-.29**	-.29**	-.31**	.60***	.43***	.39***	.49***	-

これらの結果から、ネット依存と学校スキルの関連性は男女間で異なる様相を示すことが推察される。

右上：男子， 左下：女子

*** p< .001, ** p< .01, * p< .05
 ※下位尺度の表記は略称を用いた

ネット依存傾向と学校生活スキルの重回帰分析(男女別, 強制投入法)

男子

	コミュ スキル	進路決定 スキル	自己学習 スキル	集団活動 スキル	健康維持 スキル
精神的依存状態	-.04	.07	-.02	-.03	-.15
メール不安	.05	.09	.16 ⁺	-.13	.07
長時間利用	.05	-.09	-.25[*]	.15	-.11
ながら利用	.17 ⁺	.08	.02	-.06	.16
対面コミュニケーション 不安	-.52^{***}	-.36^{***}	-.17⁺	-.05	-.17⁺
R^2	.27^{***}	.10^{**}	.10^{**}	.03⁺	.08[*]

女子

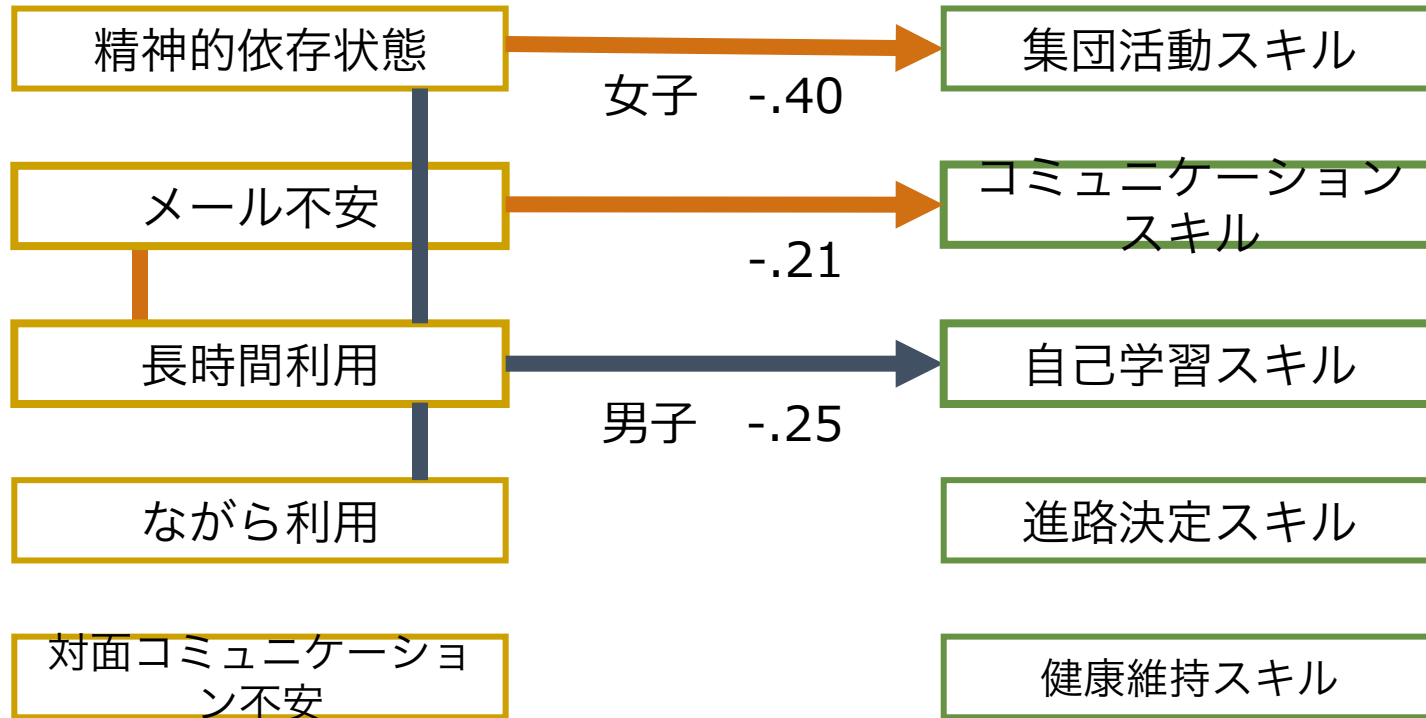
	コミュ スキル	進路決定 スキル	自己学習 スキル	集団活動 スキル	健康維持 スキル
精神的依存状態	.11	-.09	-.05	-.40^{**}	.18
メール不安	-.21[*]	.03	-.03	.06	-.19 ⁺
長時間利用	.00	-.07	-.07	.09	-.25 ⁺
ながら利用	-.01	-.20 ⁺	-.21 [*]	-.11	.11
対面コミュニケーション 不安	-.52^{***}	-.25[*]	-.19⁺	-.19⁺	-.28^{**}
R^2	.22^{***}	.22^{***}	.20^{***}	.26^{***}	.15^{**}

3. 考察

ネット依存の学校生活への影響 男女の違い

インターネット 依存尺度

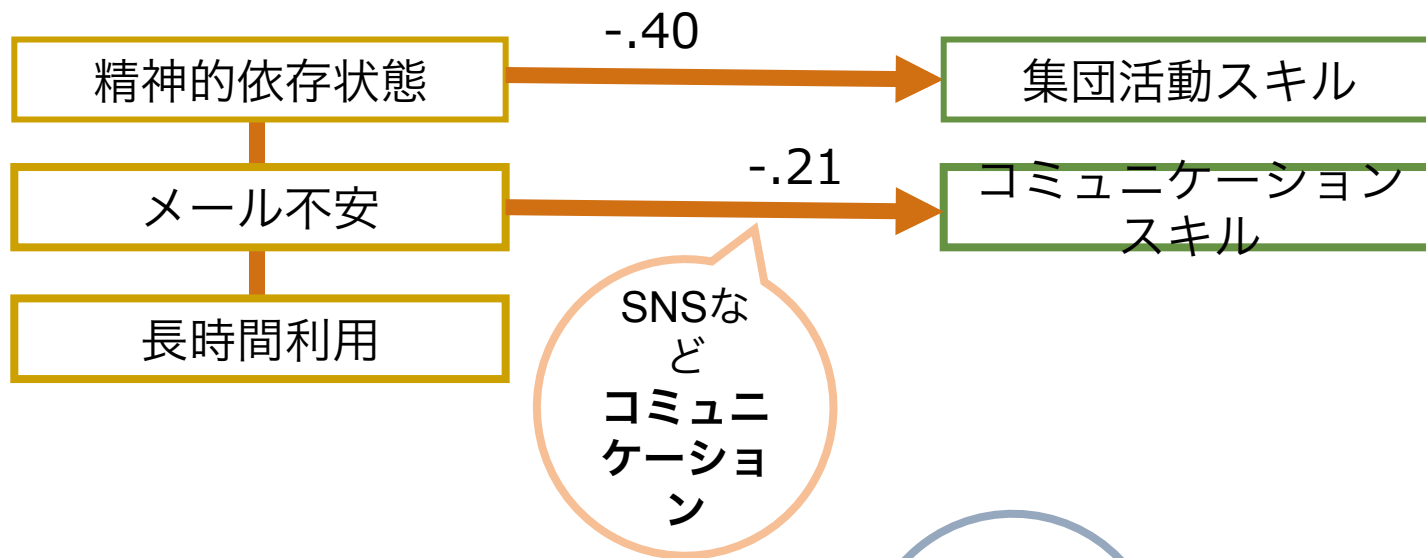
学校生活スキル 尺度



4.まとめ

ネット依存の学校生活への影響 男女の違いまとめ

女子



男子



最後に言いたいこと

皆さんの豊富な経験をデータに

データを
とる

裏付けの
ある教育

アンケート調査の分析結果で検討する ネット依存とその指導の考察

稲垣 俊介

INAGAKI Shunsuke

東京都立江北高等学校

Tokyo Metropolitan Kohoku High School

<http://inagaki-shunsuke.jp/>

ご清聴ありがとうございました

参考文献

- 橋元良明, 小室広佐子, 大野志郎, 天野美穂子, 河井大介, 堀川裕介 (2014) (平成23年度共同研究報告書) インターネット利用と依存に関する研究報告, 安心ネットづくり促進協議会
- 堀川裕介, 橋元良明, 千葉直子, 関良明, 原田悠輔 (2013) スマートフォンによる青少年のインターネット依存および親子関係と依存の関連, 社会情報学会(SSI)学会大会研究発表論文集: 101-106
- 飯田順子, 石隈利紀, 山口豊一 (2009) 高校生の学校生活スキルに関する研究, 学校心理学研究, 9(1): 25-35
- 稲垣俊介, 和田裕一, 堀田龍也 (2016) 高校生におけるインターネット依存傾向と学校生活スキルの関連性とその性差, 日本教育工学会論文誌, Vol.40 Suppl.
- 内閣府 (2016) 平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査, http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai_list.html, 2016.11.13参照
- 総務省 (2014) 高校生のスマートフォン・アプリ利用とネット依存傾向に関する調査, http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01iicp01_02000020.html, 2016.11.13参照
- 鶴田利郎, 山本裕子, 野嶋栄一郎 (2014) 高校生向けインターネット依存傾向測定尺度の開発, 日本教育工学会論文誌37(4): 491-504